

九経連モクビル研究会 NEWS

九経連では、九州の林産業の好循環化を目的とし、木造ビルの普及活動を実施しています
9月22日、今年度第1回目となる「モクビル研究会」を開催し、木造ビルの早期実現に向け新たなスタートを切りました。その報告と、これまでの主な活動実績とモクビル研究会についてご紹介いたします。

2022年度 モクビル研究会スタート

2022年9月22日(木) 第1回 モクビル研究会

第1部「木造建築先行事例研究」+ (質疑応答・意見交換・交流)

- ・ケースI (株)ADX 代表取締役 安齋 好太郎 氏
- ・ケースII (株)安成工務店 代表取締役 安成 信次 氏

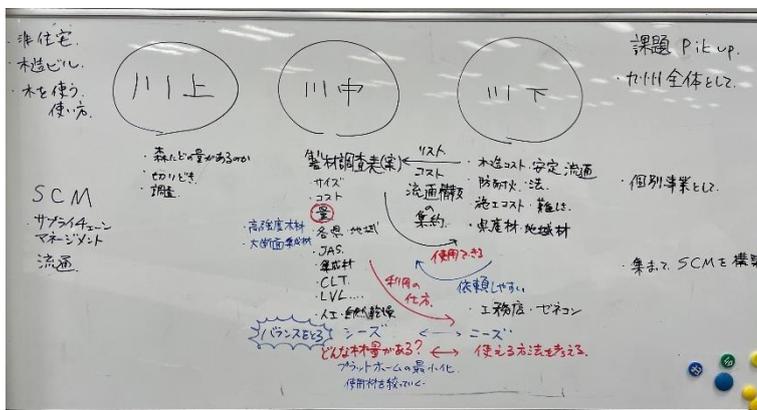
第2部「SCM最適化検討会」



(活動報告)

「技術力向上」と「SCM全体の最適化」等諸課題を洗い出し集合知を形成することを目的として実施。今回、安齋氏・安成氏の木造建築先行事例発表と、林業部会メンバーによるSCM最適化検討会を実施。全体を通じた質疑応答や意見交換で、取り組むべき課題とその対応の方向性が確認された。

今後は、先行事例の深掘りによるさらなる技術力向上と、製材所情報の集約等SCM最適化に向けた取り組みがポイントとなる。



※2021年度のモクビル研究会について

12月に創設、第1回目の研究会を実施



福岡県建築士会
鮎川会長



各県チーム代表等によるパネルディスカッション



NPO法人 team Timberize
腰原理事・安井理事長

第1回研究会では、福岡県建築士会の鮎川会長のご講演と、木造ビル構造標準モデル作成研修の各県チーム代表等によるパネルディスカッションを実施。3月の第2回研究会では、腰原・安井両氏のアドバイスで、改めて取り組むべき課題が浮き彫りとなり、活動方針・方向性等を議論した。

これまでの主な活動実績

【2019 年度】

・木造ビル構造標準モデル研修会（計 6 回）

講義（概論・工構法・木材利用・防耐火等）とエスキスで、参加 5 県設計チームのプラン完成

【2020 年度】

・木造ビル構造標準モデルの発表及びプレスリリース

7/27「九州の森林・林業・木材産業交流会 in 福岡」で発表、8/3 プレスリリース、九経連HPで紹介



福岡県チーム



佐賀県チーム



長崎県チーム



熊本県チーム



大分県チーム



九経連：モクラボチーム

・九経連会員への木造建築に関する調査と普及活動

九経連会員へ木造建築に関するアンケート調査を行い、その結果をもとに木造普及の働きかけを実施

・木造ビルの可能性を考える研修会（計 2 回）

講演、グループ討議及び部材等メーカーのプレゼン等の実施



（参加者）建築士、木材関係者、メーカー等。

モクビル研究会へのご参加お待ちしております

（モクビル研究会 概要）

創設：2021 年 12 月

参加対象：九経連 林業部会のメンバーを中心とした有志で構成

「建築設計」「部材、建材」「企業内建築部門」に関係する方々

※随時新規参加を可能とし、幅広くご参加いただいております

実施内容：①事例発表による技術力 UP…「木造建築先行事例研究」

②SCM の最適化…「SCM 最適化検討会」

③意見交換・交流…「林業関係者間の相互の交流を生む場」

事務局：九州経済連合会 農林水産部（担当：櫻木）

（問合せ）(TEL) 092-791-4268 (e-mail) ts_sakuragi@kyukeiren.or.jp



リーダー

Fukuoka Timber Building Lab

代表 倉掛 健寛 氏

（主催・発行者）（一社）九州経済連合会 農林水産部（林業部会）